

令和3年度静岡市芸術文化奨励賞受賞者



キリティ 宏美様 <部門> 室内楽



留学経験を活かしハンガリーでの演奏活動経験があるほか、静岡県はもとより、県外でもこども園や小中学校での地域音楽公演等を行い、普段クラシック音楽や生演奏に触れる機会の少ない人々に普及啓発活動を行うなど、豊かな活動実績が高く評価された。また、長年にわたり静岡室内楽協会として市内で演奏会を開催するなど、本市の文化活動促進における実績があり、今後も多彩な活動が期待できるとされ、受賞が決定した。



藤中 知幸 様 <部門> 漆芸



作家、職人として、静岡市内はもちろんのこと、中国、台湾、イタリアなど国内外問わず展示会に参加し、受賞歴を有するなど、市内に留まらない意欲的な制作・発表活動が評価された。また、その活躍は様々な雑誌・メディアでも取り上げられ、注目を集めており、発信力もある。異業種とのコラボレーションを行っているなど、活動の幅が広いことや、文化専門誌以外からの取材広報が充実している点を含め、将来益々の発展が期待されると評価され、受賞が決定した。

令和3年度静岡市芸術文化奨励賞受賞者



横山 靖代 様 <部門> 声楽



静岡県オペラ協会主催の数々の公演でソリストなど主要な役を務める活動経験のほか、自身でも9回のソロリサイタルを開催。また、国内外のコンクール部門に出演、受賞歴も有するなど、充実した実績が高く評価された。また、コロナ禍でも工夫して文化活動を継続しているほか、研究会を主宰し後進の育成に励んでいる点など、本市への文化活動における貢献についても評価され、受賞が決定した。

令和2年度静岡市芸術文化奨励賞受賞者

前田 直紀 様 <部門> 陶芸



陶芸教室や陶芸ワークショップの開催等による市内における文化振興だけではなく、アーティスト・イン・レジデンス事業（※）においては、地域の活性化を一つのコンセプトとして作品作りをしており、市街地活性化への寄与が高く評価されました。

また、藤枝市陶芸センターの館長就任や、陶芸家として世界各地で幅広い活動も行っており、コロナ禍においてはオンライン活動を通じてそのネットワークを広げる等、文化交流や情報発信の面においても高く評価され、今後もさらなるご活躍が期待されます。

「アーティスト・イン・レジデンス事業」・・・芸術家がある土地に滞在し、普段とは異なる環境でリサーチ活動や作品制作を行う事業。

静岡吹奏楽団 様 <部門> 吹奏楽



団体の設立時から音楽活動を通じた地域の文化振興と、子どもたちの健全育成を目的に活動しており、市内各地で演奏活動を行うなど、幅広く音楽鑑賞の機会を提供しています。

音楽を通じた地域への社会貢献が評価され、特に梅ヶ島や湯ノ島といった山間部での活動は、本市芸術文化振興への寄与として高く評価されました。

また、生涯学習交流館等における積極的な活動の中で、市内外との文化交流についても、今後さらなるご発展が期待されます。

令和元年度静岡市芸術文化奨励賞受賞者



清水フィルハーモニー管弦楽団 様 <部門> オーケストラ



清水区を拠点とする市民オーケストラとして、設立から30年以上に亘り、地域に根差した活発な演奏活動を行っており、清水文化会館マリナートのこけら落とし公演や、運営団体として全国アマチュアオーケストラ連盟（JAO）全国大会・世界大会を開催するなどの実績を有している。

さらに、地元の学生オーケストラや小学生との共演、幼児やその保護者の方を対象とした「子どものための音楽会」の開催など、後進の育成や幅広く市民へ向けた芸術鑑賞機会の提供にも大いに貢献している。

市民オーケストラとしての実力もさることながら、静岡市における音楽文化振興への寄与や、地域への社会的貢献が高く評価され、今後もさらなる活躍が期待された。

平成30年度静岡市芸術文化奨励賞受賞者



見城星梅月（けんじょうせいばいげつ）様 ＜部門＞ 吟剣詩舞



舞踊家として、全国剣詩舞コンクールや全国剣詩舞群舞コンクールでの優勝経験のほか、全国から集められた「剣詩舞スーパーチーム」への選出など、その実力が全国的にも認められている。

また、静岡市の文化事業にも積極的に参加し、海外公演や市内外での多彩なイベントに出演しているほか、後進の指導にあたるなど、広く詩舞の普及に努めている。

これまでの実績と、静岡市における伝統芸能の振興に寄与し、今後の活躍が益々期待される点が高く評価された。

平成29年度静岡市芸術文化奨励賞受賞者



杉浦弘承（すぎうらこうしょう）様 <部門> 書道



書家として、中央書壇・日展・読売書法会・日本書作院において輝かしい実績を残している。
その一方で、市内の小学校にて書写導入授業、書初め指導を行うなど、書写教育の向上にも寄与している。
これまでの書家としての活動と、静岡市における芸術文化の振興への寄与が高く評価され、今後もさらなる発展が期待された。

平成28年度静岡市芸術文化奨励賞受賞者



劇団らせん劇場（げきだんらせんげきじょう）様 ＜部門＞演劇



劇団らせん劇場 代表 高岡 基 様

静岡市内では有数の40年以上の活動歴を持った劇団であり、地域劇団東京演劇祭に2度参加するなど、設立から現在に至るまで精力的に活動を行っている。

これまでの活動と、静岡市における芸術文化の振興への寄与が高く評価されるとともに、今後の本市における演劇文化をさらにけん引し、発展させていくことが期待された。

平成27年度静岡市芸術文化奨励賞受賞者

風鈴丸（ふうりんまる）様 <部門> 木版画



木版画家として、全国各地で個展を開催し、その作品は全国的に高く評価されている。
また、県・市内の小中学校や幼稚園で特別授業や講演を行うなど、静岡市への地域貢献が非常に大きい。
これまでの活動と、静岡市における芸術文化の振興への寄与が高く評価され、今後もさらなる発展が期待された。

平成26年度静岡市芸術文化奨励賞受賞者

戸崎 文葉（とざき ふみよ）様＜部門＞合唱指揮



合唱指揮者・指導者として、全国各地での合唱指導を行い、その優れた指導力は全国的にも高く評価されている。また、音楽青葉会・静岡児童合唱団での指導を始めとし、静岡市の合唱文化の振興にも深く寄与している。これまでの活動と、静岡市における音楽文化の振興への寄与が高く評価され、今後もさらなる発展が期待された。

静岡市能楽連盟（しずおかしのうがくれんめい） ＜部門＞能楽



静岡市能楽連盟 代表 玉井 道夫 様

観世流、宝生流、金春流といった複数の流派によって構成される全国的にも珍しい団体であり、設立以来、市民への能楽の鑑賞機会及び指導を提供し続けてきた。地域における能楽の担い手が減少しつつある現代において、静岡市の能楽の伝統を守り、発展させていく団体として高く評価された。

平成25年度静岡市芸術文化奨励賞受賞者



K's pro.（ケッズプロ）様 ＜部門＞コンテンポラリーダンス



K's pro. 代表 森本 京子様

コンテンポラリーダンスという新しい分野に積極的に取り組み、設立以来、毎年新しい作品を創造し、市民へ発信している。

高い水準の活動と、静岡の若手と全国のプロを静岡市で結ぶという新たな団体としての意義が評価された。

今後は、コンテンポラリーダンスの社会的意義を担い、幅広い市民へのコンテンポラリーダンスの拡大、地域への文化貢献が期待される。

平成24年度静岡市芸術文化奨励賞受賞者



石川 清翠（いしかわ せいすい）様 ＜部門＞ 書道



書家として書道文化の昂揚及び書道教育の振興を図り、かな作家として中央書壇、県内、地元等多方面に活躍し、数々の賞を受賞している。
その一方で、静岡市民文化祭書道部門審査員や、文化協会会報「文化の風」の編集長を務めるなど、静岡市における書道文化の発展にも寄与している。
これまでの書家としての活動と、静岡市における書道文化の振興への寄与が高く評価され、今後もさらなる発展が期待された。



青嶋 直樹（あおしま なおき）様 ＜部門＞ 音楽【チェロ】



静岡を代表するチェリストで、東京をはじめ日本各地で数々の演奏会に出演している。
その一方で、レッスンプロとして活動し、これからの静岡市の音楽文化を担っていく若手の育成にも貢献している。
また、静岡室内楽協会の担い手として、各地での演奏会に出演するとともに、保健福祉センターや、生の演奏に触れることの少ない小中学校での演奏など、社会的活動にも尽力している。
これまでのチェリストとしての活動と、静岡市における音楽文化の振興への寄与が高く評価され、今後もさらなる発展が期待された。

平成25年度静岡市芸術文化奨励賞受賞者



羽根田 敦子（はねだ あつこ）様 ＜部門＞ 音楽【オペラ】



声楽家として、数多くのオペラ公演において主役を演じるとともに、地元オーケストラとの共演、地域コンサートの出演等地域に根差した活動行っている。また、20年にわたりチャリティーコンサートを主宰し、その収益を病院へ寄付するなど、幅広い活動を行っている。

さらに、所属する静岡県オペラ協会においては、副会長、事務局長を務め、オペラの普及と発展に尽力している。このほか、声楽家への指導及び、生涯学習施設において合唱団を指導するなど、音楽教育にも力を注いでいる。音楽を通して芸術文化の振興と向上に寄与し、今後の活躍が益々期待される点が高く評価された。